

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話リリース ノート (ファームウェア リリース 11.3(1))

初版 : 2019 年 11 月 19 日

リリース ノート

これらのリリース ノートは SIP ファームウェア リリース 11.3(1) を実行している次の Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 で使用します。

- Cisco IP 電話 8811 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8841 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8845 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8851 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8861 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8865 マルチプラットフォーム電話

以下の表に個々の電話の要件を説明します。

Phone	サポート サーバ
Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話	BroadSoft BroadWorks 22.0 MetaSphere CFS バージョン 9.5 Asterisk 11.0

関連資料

この後のセクションに、ドキュメントの更新と追加ドキュメントに関する情報を記載します。

ドキュメントの機能拡張

ファームウェア リリース 11.3(1) から、以前のプロビジョニングガイドの情報を『アドミニストレーションガイド』に統合しました。改訂したこの『アドミニストレーションガイド』では、コンフィギュレーションファイルまたは電話機 Web インターフェイスのいずれかを使用して電話機を設定する方法について説明します。

2つのガイド『Cisco IP 電話マルチプラットフォーム ファームウェアに関する FAQ』と『BroadSoft クイック スタート ガイド』を追加しました。

完全なドキュメンテーションスイートは、次のとおりです。

- Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーションガイド
- Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 ユーザ ガイド
- Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 リリース ノート
- Cisco IP 電話マルチプラットフォーム ファームウェアに関する FAQ
- BroadSoft クイック スタート ガイド (BroadSoft プラットフォームのみ)

Cisco IP 電話 8800 シリーズのマニュアル

お使いの言語、電話機モデル、およびマルチプラットフォーム ファームウェア リリースに対応した資料を参照してください。次の Uniform Resource Locator (URL) から移動します。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/index.html>

新機能および変更された機能

暗号の設定

電話機の TLS アプリケーションが使用する暗号スイートを指定できます。この機能を使用すると、電話機で有効または無効にする TLS 暗号スイートを選択できます。

暗号スイートを指定するには、電話機の管理 Web ページの [音声 (Voice)] > [システム

(System)] タブで [TLS 暗号リスト (TLS Cipher List)] フィールドを使用します。暗号リストは、1つまたは複数の暗号スイートで構成します。複数の暗号スイートの場合は、スイートをコロンで区切ります。有効な暗号リストを指定したら、そのリストは電話機のすべての TLS アプリケーションに適用されます。有効な暗号リストは、特定の形式に従う必要があります。暗号リストの形式については、<https://www.openssl.org/docs/man1.0.2/man1/ciphers.html> を参照してください。

デフォルトでは、このフィールドに暗号リストは指定されていません。無効なリストは空白値として扱われます。このフィールドに空白または無効なリストが含まれている場合、使用される暗号スイートはアプリケーションによって異なります。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーションガイド

HTTP プロビジョニング用の DNS SRV

この機能を使用してマルチプラットフォーム電話の自動プロビジョニングを有効にすることができます。ドメインネームシステムサービス (DNS SRV) レコードで、サービスとホスト名間の接続が確立されます。電話機がプロビジョニングサービスの場所を検索するときには、

指定された DNS SRV ドメイン名をまず照会し、次に SRV レコードを照会します。電話機は、サーバがアクセス可能であることを確認するためにレコードを検証します。その後、実際のプロビジョニングフローに進みます。サービスプロバイダーは、この DNS SRV プロビジョニングフローで自動プロビジョニングを行うことができます。

DNS SRV では、DHCP から提供されたドメイン名の証明書に基づいてホスト名が検証されます。DHCP から提供されたドメイン名を含む有効な証明書がすべての SRV レコードで使用されることが重要です。

DNS SRV クエリには、DHCP ドメイン名が `_<servicename>._<transport>.<domainName>` の形式で含まれます。

たとえば、`_ciscoprov-https._tls.example.com` は `example.com` のルックアップを実行するように電話機に指示します。電話機は、DNS SRV クエリから取得したホスト名とポート番号を使用して URL を作成し、そこから初期設定をダウンロードします。

DNS SRV は、電話機が使用する多くの自動プロビジョニングメカニズムの 1 つです。電話機は、次の順序でこのメカニズムを試行します。

1. DHCP
2. DNS SRV
3. EDOS
4. GDS (アクティベーションコードのオンボーディング)、または EDOS デバイスのアクティベーション

DNS SRV は TFTP プロトコルをサポートしていません。TFTP を使用すると、「エラー: TFTP スキームは SRV ルックアップでサポートされません (Error - TFTP Scheme not supported in SRV lookups)」というエラーメッセージが表示されます。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

DTMF RFC4733 サポート

電話機は RFC4733 に対応するようになりました。DTMF パルスをサーバに送信するために、3 つの音声ビデオ転送 (AVT) オプションから選択できます。

- 8 kHz クロック レートの AVT 動的ペイロード
- 16 kHz クロック レートの AVT 16kHz 動的ペイロード
- 48 kHz クロック レートの AVT 48kHz 動的ペイロード

設定された動的ペイロードは、電話機が Session Description Protocol (SDP) のオファーを示すときのみ、発信コールで使用されます。

電話機 Web ページの [SDP ペイロード (SDP Payload)] セクションで、[AVT 動的ペイロード (AVT Dynamic Payload)] オプションを設定できます。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

短いアクティベーションコードを使用した自動プロビジョニング

この機能を使用して電話機をセットアップするためのアクティベーションコードをユーザに提供できます。ユーザは電話機の[ようこそ (Welcome)]画面に短いアクティベーションコードを入力します。その後、電話機はプロビジョニング情報を受信します。

この機能は、CDA (EDOS) サーバ経由のクラウドプロビジョニング方式を使用します。CDA サーバに MAC アドレスを追加する必要はありません。

短いアクティベーションコードには、3～16桁の数字が含まれています。ユーザはシャープ (#) を押してから、短いコード番号を入力します。形式 **#nnn**、**#nnnnnnnnnnnnnnnnnnnn**、または3～16桁の数字を使用します。シャープ (#) キーを押すことで、短いアクティベーションコードで自動プロビジョニングを使用しようとしていることを示します。それ以外の場合は、アクティベーションコードのオンボーディング機能には16桁のコードが想定されています。ユーザが番号の前にシャープ (#) を入力しないと、電話機に [無効なアクティベーションコード (Invalid activation code)] が表示されます。誤ったコードが入力された場合も同じメッセージが表示されます。

正しいコードで電話機を登録できなかった場合は、電話機を工場出荷時の設定にリセットして、もう一度やり直してください。

詳細情報の入手先

- *Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 ユーザ ガイド*

メディアセッションの変更に関するコール終了時の統計 (BYE および re-INVITE)

セッション開始プロトコル (SIP) メッセージで、電話機がコール終了時の統計を送信するように設定できます。電話機は、コール終了時または保留中に、コール統計をリモートエンドに送信します。コール統計は、BYEメッセージとre-INVITEメッセージのヘッダーとして送信されます (オーディオセッションの場合は RTP-RxStat と RTP-TxStat、ビデオセッションの場合は RTP-VideoRxStat と RTP-VideoTxStat)。

デフォルトでは、電話機はコール統計を送信しません。電話機の管理 Web ページの [音声 (Voice)] > [SIP] タブの [コール統計 (Call Statistics)] フィールドでこの機能を有効にすることができます。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

TLS によるホスト名の検証

電話回線で TLS を使用することで、電話機のセキュリティを向上させることができます。ホスト名を確認することで、接続が安全かどうかを検証できます。

TLS 接続では、電話機はホスト名を確認してサーバのアイデンティティをチェックできます。電話機はサブジェクト代替名 (SAN) とサブジェクト共通名 (CN) の両方をチェックできます。有効な証明書のホスト名がサーバとの通信に使用されるホスト名と一致する場合、TLS 接続が確立されます。それ以外の場合、TLS 接続は失敗します。

電話機は、次のアプリケーションのホスト名を必ず確認します。

- LDAPS
- XMPP
- HTTPS を使用した画像アップグレード
- HTTPS を使用した XSI
- HTTPS を使用したファイルのダウンロード
- TR-069

TLS を使用した電話回線で SIP メッセージを送信するには、**[内線 (n) (Ext(n))]** タブの **[TLS 名前検証 (TLS Name Validate)]** フィールドでホスト名の検証を制御できます。ホスト名を確認するには、このフィールドを **[はい (Yes)]** に設定します。ホスト名の確認を省略するには、このフィールドを **[いいえ (No)]** に設定します。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

回線キー LED 動作のカスタマイズ

これらのオプションを使用して、マルチプラットフォーム電話の回線キー LED の動作を制御できます。

- **[デフォルト (Default)]** : ファームウェアがリリース 11.3.1 よりも前の電話機のシステムデフォルトに LED の動作を設定します。すべてのフィールドが空白で表示されます。
- **[プリセット 1 (Preset 1)]** : 事前設定を使用して電話機を設定します。すべてのフィールドへの入力 は自動で行われます。
- **[カスタム (Custom)]** : LED の動作をカスタマイズできます。フィールドに手動で入力できます。空白のままにしたフィールドには、システムのデフォルトが適用されます。

電話機 Web ページでオプションを選択します。電話回線キーとキー拡張モジュール回線キーの LED 同時動作を設定すると、**[アテンダント コンソール (Att Console)]** タブの内容が変更されます。キー拡張モジュール回線キーの動作を表示するには、**[音声 (Voice)] > [アテンダント コンソール (Att Console)]** を選択します。**[アテンダント コンソールキー LED パターン (Att Console Key LED Pattern)]** セクションを確認します。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

クライアント側で開始されたメディア プレーンセキュリティ ネゴシエーションのサポート

電話機とサーバ間のメディア プレーンセキュリティ ネゴシエーションに対して、クライアント開始モードまたはサーバ開始モードを選択できます。メディア プレーンセキュリティのために電話機がサーバとのネゴシエーションを開始できるようにするには、**[MediaSec 要求 (MediaSec Request)]** フィールドを **[はい (Yes)]** に設定します。デフォルト設定は **[いいえ (No)]** (サーバ開始モード) です。セキュリティメカニズムは、RFC 3329 に規定されている標準とその拡張案メディアの拡張ドラフトセキュリティメカニズム名に準拠しています (<https://tools.ietf.org/html/draft-dawes-sipcore-mediasec-parameter-08#ref-2> を参照)。**[TLS での MediaSec のみ (MediaSec Over TLS Only)]** フィールドで、SIP シグナリングトランスポートプロトコルが TLS の場合にのみメディア プレーンセキュリティ ネゴシエーションが適用されるように制限できます。

電話機 Web インターフェイスの **[音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext (n))]** タブで **[SIP 設定 (SIP Settings)]** セクションのパラメータに移動します。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話アドミニストレーションガイド

オンデバイス ファイアウォール

オペレーティングシステムを強化して、電話機のセキュリティが向上しました。強化により、悪意のある着信トラフィックから電話機を保護するファイアウォールが備わりました。

ファイアウォールは、着信および発信データのポートを追跡します。予期しない送信元からの着信トラフィックを検出し、アクセスをブロックします。ファイアウォールは、すべての発信トラフィックを許可します。

ファイアウォールはデフォルトで有効になっており、デフォルトのオープン UDP および TCP ポートを使用して設定されています。電話機 Web ページの **[音声 (Voice)] > [システム (System)] > [セキュリティ設定 (Security Settings)] > [ファイアウォール (Firewall)]** セクションから設定を変更できます。ファイアウォールを変更しても、電話機をリセットする必要はありません。電話機のソフト リスタートは通常ではファイアウォールの動作に影響しません。

キーワードを使用して他のファイアウォールオプションを制御することもできます。詳細については、『アドミニストレーションガイド』を参照してください。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話アドミニストレーションガイド

マルチキャスト ページング

マルチキャスト ページングを設定すると、ユーザが電話機にページングできるようになります。このページングは、同じネットワーク内のすべての電話機または電話機グループを対象とすることができます。グループ内のどの電話機もマルチキャスト ページングセッションを開始できます。ページンググループをリッスンする電話機のみがページを受信できます。

最大で10のページンググループに電話機を追加できます。各ページンググループには、一意のマルチキャストポートと番号があります。ページンググループ内の電話機は、同じマルチキャストIPアドレス、ポート、およびマルチキャスト番号をサブスクライブする必要があります。

特定のグループのページのプライオリティを設定できます。電話機がアクティブで、優先順位の高いページセッションが発生すると、ユーザにはアクティブなオーディオパスを介してページが聞こえます。管理 Web ページの [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] タブでプライオリティを設定します。

複数のページングが発生した場合は、電話機はページングの発生順に応答します。アクティブなページが終了するまで、電話機は次のページに応答しません。サイレント (DND) が有効になっている場合、電話機は着信ページングを無視します。

ページングに使用するコーデックを指定できます。サポートされているコーデックは、G711a、G711u、G722、および G729 です。コーデックを指定しない場合、ページングはデフォルトで G711u を使用します。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

ワンボタンコールパーク

ユーザは、ユーザをモニタする回線キーを使用して、特定のユーザにアクティブコールをパークできます。ユーザは、パークされたコールを任意の電話または内線番号から取得することもできます。コールのパークを解除するには、次の3つのいずれかを行います。

- パークされたコールを表示するモニタ対象ユーザを押します。
- 内線回線キーを押し、パークされたコールを表示するモニタ対象ユーザを押します。
- [ナビゲーション (navigation)] ボタンを使用して、内線回線キーに焦点を当て、パークされたコールを表示するモニタ対象ユーザを押します。

Broadsoft サーバでモニタ対象のユーザアカウントを設定するには、既存の話中ランプフィールド (BLF) リストを使用します。サーバでコールパーク通知を有効にします。電話機 Web ページでは、パラメータ **BLF List Feature Options** は2つのオプション **prk** と **blf+sd+cp** を含むドロップダウンリストをサポートします。**prk** を選択した場合、**BLF** リストをモニタしている回線キーは、コールパーク機能のみをサポートします。**blf+sd+cp** を選択した場合は、**BLF** リストをモニタしている回線キーは、blf、短縮ダイヤル、およびコールピックアップ機能をサポートします。**[BLF リスト機能オプション (BLF List Feature Options)]** パラメータのデフォルト値は **blf+sd+cp** です。

1つのユーザの回線をモニタし、拡張機能を割り当てるように回線キーを設定するには、電話機 Web ページにスクリプトを入力します。**[音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] > [回線キー <#> (Line Key <#>)] > [拡張機能 (Extended Function)]** フィールドに移動します。

prk を別の機能と組み合わせると (例: **prk + blf**)、**prk** のみが有効になります。

詳細情報の入手先

- *Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 ユーザ ガイド*

OPUS コーデック ナローバンド

マルチプラットフォーム電話は OPUS コーデック ナローバンドをサポートするようになりました。OPUS コーデック ナローバンドにより、ネットワーク帯域幅が節約されます。マルチプラットフォーム電話は OPUS コーデックをサポートします。ファームウェアリリース 11.3(1) より、ワイドバンドとナローバンドの両方を使用するように電話機を設定できます。電話機は、競合せずに OPUS ナローバンドおよびワイドバンドコーデックを使用できます。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

DTMF をサポートする PSK

デュアルトーン多重周波数 (DTMF) を使用してプログラム可能なソフトキー (PSK) を設定できます。この設定により、電話機はアクティブ コール中にサーバにデジタルパルスを送信できるようになります。PSK で機能を有効にすると、ユーザはソフトキー名を表示し、それを押して名前付き機能を実行します。

この機能は、プログラム可能なソフトキーにのみ適用されます。プログラム可能な回線キー (PLK) には適用されません。この機能を適用するように PLK を設定すると、丸で囲まれた X アイコン ⊗ が表示され、キーを押しても反応しません。

この機能は、[接続されているキーリスト (Connected Key List)] と [接続されたビデオキーリスト (Connected Video Key List)] のみをサポートします。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

リモート SDK

電話機は、リモートソフトウェア開発キット (SDK) をサポートするようになりました。リモート SDK には、電話機を制御するための WebSocket ベースのプロトコルが用意されています。リモート SDK は、電話機によって開始された WebSocket 接続を使用して、制御する WebSocket サーバがコマンドを送信したり、コマンドの結果を受信したり、電話機からイベントを受信したりできるようにします。

電話機 Web インターフェイスから [音声 (Voice)] > [電サ (phone)] > [WebSocket API] でリモート SDK を設定できます。

この機能は、ファームウェア リリース 11.3 (1) 以降でサポートされています。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

SIP およびメディア伝送の最適化

電話機が発信側から ACK を受信する前または後に、RTP セッションを開始するように電話機を設定できます。この設定により、ACK 伝送遅延による音声損失が発生する環境でのメディア伝送が最適化されます。

電話機の管理 Web ページの **[音声 (Voice)] > [SIP]** タブで、**[ACK 前の RTP (RTP Before ACK)]** フィールドを使用します。これを **[はい (Yes)]** に設定すると、RTP 伝送は ACK を待たずに、200 件の OK メッセージの送信後に開始されます。これを **[いいえ (No)]** に設定すると、ACK を受信するまで RTP 伝送は開始されません。デフォルト設定は **[いいえ (No)]** です。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

SIP セッション ID のサポート

電話機は「セッション識別子」をサポートするようになりました。この機能は、既存のコール識別子の制約を克服し、RFC 7989 に準拠した IP ベースのマルチメディア通信システムでの SIP セッションのエンドツーエンドトラッキングを可能にします。セッション識別子をサポートするために、「セッション ID」ヘッダーが SIP 要求および応答メッセージに追加されます。

この機能を有効にするには、電話機 Web インターフェイスで **[音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n)] > [SIP 設定 (SIP Settings)] > [SIP セッション ID サポート (SIP SessionID Supports)]** を選択します。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

有用性機能強化メッセージ

電話機の起動後に、イーサネット接続がない場合、またはプロビジョニング設定が無効な場合は、有用性機能強化メッセージがすぐに表示されます。取得が困難な貴重な情報をこの機能強化から得られます。

電話機が Wi-Fi をサポートしていて、インターネットに接続できない場合は、「インターネットの設定を確認するか、サービス プロバイダーにお問い合わせください (Verify your internet settings or contact your service provider)」というメッセージが表示されます。ソフトキーを使用して Wi-Fi ネットワークをスキャンできます。このメッセージは、電話機がネットワークへの接続を失った場合にも表示されます。

「プロビジョニングの設定を確認するか、サービス プロバイダーにお問い合わせください (Verify your provisioning settings or contact your service provider)」というメッセージが電話機に表示された場合は、プロビジョニングの設定が正しくありません。

ん。ソフトキーから詳細情報を取得できます。このメッセージは、電話機が起動し、コールサーバに登録できない場合にのみ表示されます。電話機が登録された後に、管理者が誤ったプロビジョニング設定を誤って適用しようとしても、このメッセージは表示されません。

問題が解決した場合、メッセージは表示されません。電話画面の **[設定 (Settings)]** > **[ステータス (Status)]** > **[ステータス メッセージ (Status Message)]** でメッセージを表示できます。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 ユーザ ガイド

ネットワークに接続されていない場合の Wi-Fi スキャン

電話機が Wi-Fi をサポートしている場合は、起動時にネットワークを検索します。これは、次のいずれかの方法で機能します。

- 自動スキャン：電話機がイーサネットケーブルに接続されていない場合は、初回起動時または初期設定へのリセット後に、Wi-Fi ネットワークを自動的にスキャンします。自動スキャンが完了すると、ネットワークのリストが表示されます。ネットワークを選択し、プロンプトに従って電話機をネットワークに接続します。
- **[Wi-Fi スキャン (Wi-Fi Scan)]** ソフトキー：次の場合にソフトキーが電話機に表示されず。
 - 電話機がイーサネットケーブルに接続されていない。
 - 電話機が Wi-Fi ネットワークに接続されていない。
 - 初回起動でも初期設定へのリセットでもない。

ユーザは **[Wi-Fi スキャン (Wi-Fi Scan)]** を押すと、ネットワークのリストが表示されます。ネットワークを選択し、プロンプトに従って電話機をネットワークに接続します。

次の電話機のみが Wi-Fi をサポートしています。

- Cisco IP 電話 8861 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8865 マルチプラットフォーム電話

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話

UDI ディスプレイ

電話機画面と電話機 Web ページには、完全な Unique Device Identifier (UDI) 情報が表示されます。Cisco UDI は Cisco UDI が有効になっているすべての Cisco ハードウェア製品の一意の ID です。UDI は、電話機に関連付けられた 3 つのデータ要素で構成されています。データ要素は、次のとおりです。

- 製品 ID (PID)

- バージョン ID (VID)
- シリアル番号 (SN)

UID 情報を表示するには、次のいずれかを実行します。

- 電話機で、[設定 (Settings)] > [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product information)] を選択します。
- 電話機 Web インターフェイスで、[情報 (Info)] > [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product information)] を選択します。

キー拡張モジュールの UID 情報を表示するには、次のいずれかを実行します。

- 電話機で、[設定 (Settings)] > [ステータス (Status)] > [アクセサリ (Accessories)] > [アテンダント コンソール ユニット (n) (Attendant console unit (n))] を選択します。
- 電話機 Web インターフェイスで、[情報 (Info)] > [アテンダント コンソール ステータス (Attendant Console Status)] を選択します。

詳細情報の入手先

- *Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 ユーザ ガイド*

VQM SIP パブリッシュ メッセージの新しいフィールド

音声品質メトリック (VQM) SIP パブリッシュ メッセージ レポートに名前を割り当てることができます。この名前に基づいて音声品質レポートを整理することができます。

電話機 Web ページの [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] タブで、[音声品質レポート グループ (Voice Quality Report Group)] フィールドにレポート名を追加します。レポート名の先頭にハイフン (-)、セミコロン (;)、またはスペースを使用することはできません。

XML コンフィギュレーション ファイルで [音声品質レポート グループ (Voice Quality Report Group)] フィールドを設定することもできます。

Wireshark などのパケット アナライザでレポートを検索できます。パケット アナライザで [音声品質レポート グループ (Voice Quality Report Group)] フィールドは [ローカル グループ (LocalGroup)] として表示されます。

詳細情報の入手先

Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話 アドミニストレーション ガイド

Wi-Fi ステータス メッセージ

Cisco IP 電話 8861 および 8865 マルチプラットフォーム電話の Wi-Fi 接続ステータスに関するメッセージを表示できます。これらのメッセージは、Wi-Fi 接続の問題を診断するのに役立ちます。メッセージには、次のものが含まれます。

- アクセス ポイントの接続時間と MAC アドレス
- 切断時間と診断コード
- 接続失敗時間
- アクセス ポイントの弱信号が 12 秒を超える時間

Wi-Fi メッセージを表示するには、[アプリケーション (Applications)]  を押し、[ステータス (Status)] > [Wi-Fi メッセージ (Wi-Fi messages)] を選択します。不完全なメッセージが表示された場合は、[詳細 (Details)] を押して完全なメッセージを表示します。

この機能は、次の電話でサポートされます。

- Cisco IP 電話 8861 マルチプラットフォーム電話
- Cisco IP 電話 8865 マルチプラットフォーム電話

詳細情報の入手先

- Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話アドミニストレーションガイド
- Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話ユーザガイド

ファームウェアのアップグレード

電話機のファームウェアは、TFTP、HTTP、または HTTPS を使用してアップグレードできます。アップグレードが完了すると、電話機は自動的にリブートします。

手順

ステップ 1 このリンクをクリックします。

<https://software.cisco.com/download/home/286311392>

表示されるソフトウェア ダウンロード Web ページで、マルチプラットフォーム ファームウェアを搭載した IP 電話 8800 シリーズが中央のペインで選択されていることを確認します。

ステップ 2 お使いの電話モデルを右側のペインで選択します。

ステップ 3 次に表示されるページで [マルチプラットフォームファームウェア (Multiplatform Firmware)] を選択します。

ステップ 4 [最新リリース (Latest Release)] で [11.3.1] を選択します。

ステップ 5 (任意) ファイル名にマウス ポインターを置くと、ファイルの詳細とチェックサム値が表示されます。

ステップ 6 対応するファイルをダウンロードします。

cmterm-88xx.11-3-1MPP-697_REL.zip

ステップ 7 [使用許諾契約に同意 (Accept License Agreement)] をクリックします。

ステップ 8 ファイルを解凍し、アップグレードサーバ上の適切な場所にファイルを配置します。

適切な場所は、アップグレードに使用するプロトコルに応じて、ファイルを TFTP、HTTP、または HTTPS ダウンロードフォルダに置きます。

ステップ 9 電話機のファームウェアを以下の方法のいずれかでアップグレードします。

- 電話機のファームウェアを電話管理 Web ページからアップグレード:

1. 電話機管理の Web ページで、[**管理者ログイン (Admin Login)**] > [**詳細 (Advanced)**]、[**音声 (Voice)**] > [**プロビジョニング (Provisioning)**] > [**ファーム アップグレード (Firmware Upgrade)**] に移動します。

2. [**アップグレードルール (Upgrade Rule)**] フィールドに、ファイルのロード用 URL を以下のとおりに入力します。

ファイルのロード用 URL 形式:

```
<upgrade protocol>://<upgrade server ip address>[:<port>]/<path>/<file name>.loads
```

例:

```
https://10.73.10.223/firmware/sip88xx.11-3-1MPP-697.loads
```

3. [**すべての変更を送信 (Submit All Changes)**] をクリックします。

- Web ブラウザから電話機のファームウェアを直接アップグレードします。

Web ブラウザのアドレスバーに、電話機のアップグレード URL を次のとおりに入力します。

電話機のアップグレード URL の形式:

```
<phone protocol>://<phone ip address[:port]>/admin/upgrade?<load file URL>
```

ファイルのロード用 URL 形式:

```
<upgrade protocol>://<upgrade server ip address>[:<port>]/<path>/<file name>.loads
```

例:

```
https://10.74.10.225/admin/upgrade?https://10.73.10.223/firmware/sip88xx.11-3-1MPP-697.loads
```

(注) <file name>.loads ファイルを URL で指定します。<file name>.zip ファイルには、他のファイルが含まれています。

制限事項

ネットワーク輻輳時の電話の動作

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声とビデオの品質にも影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワーク速度低下の原因として、たとえば次のようなアクティビティがあります。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

警告

警告の表示

Cisco Bug Search ツールを使用して警告（バグ）を検索できます。

既知の警告は、重大度レベルに従って評価され、「未解決」または「解決済み」のどちらかになります。

始める前に

Cisco.com のユーザ ID とパスワードを使用できるように準備しておきます。

手順

ステップ 1 次のいずれかのリンクをクリックします。

- このリリースに影響するすべての警告を表示するには、次のようにします。

[https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&rls=11.2\(3\)&sb=anfr&bt=custV](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&rls=11.2(3)&sb=anfr&bt=custV)

- このリリースに影響する未解決の警告を表示するには、次のようにします。

[https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&rls=11.2\(3\)&sb=anfr&sts=open&bt=custV](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&rls=11.2(3)&sb=anfr&sts=open&bt=custV)

- このリリースに影響する解決済みの警告を表示するには、次のようにします。

[https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&rls=11.2\(3\)&sb=anfr&sts=fd&bt=custV](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=&pf=prdNm&pfVal=286311392&rls=11.2(3)&sb=anfr&sts=fd&bt=custV)

ステップ 2 プロンプトが表示されたら、Cisco.com ユーザ ID とパスワードを使用してログインします。

ステップ 3 （任意）特定の警告の情報を検索するには、**[検索 (Search for)]** フィールドにバグ ID 番号 (**CSCxxxxnnnn**) を入力して、**Enter** キーを押します。

未解決の警告

次のリストには、ファームウェア リリース 11.3(1) を使用している Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話の未解決の重大度 1、2、および 3 の不具合が記載されています。

このリストには、このレポートのコンパイル時に未解決であった警告のスナップショットが反映されます。警告のステータスは、その後に変更されている場合があります。未解決の警告の更新されたビュー、または特定の警告の詳細または履歴を表示するには、[警告の表示 \(14 ページ\)](#) の説明に従ってバグ検索ツールキットにアクセスします。この情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

- CSCvr86301 リモート SDK : WebSocket Control Server URL が HTTP 401 チャレンジ後に 10 秒待機する
- CSCvr86286 リモート SDK : [WebSocket Control Server URL] フィールドが HTTP/1.0 リダイレクトを受け入れない
- CSCvo26146 特定業種向けサービス アクティベーション コード トグル ボタンの有効化/無効化
- CSCvq96400 コール録音中にビデオ コールを再開できない
- CSCvr38502 プロフィールアカウントの設定トーストが、LCD でのプロビジョニングで機能しない
- CSCvr64226 1 回線を選択し、[すべて削除 (Delete All)] を押すと、全回線のコールログが削除される
- CSCvr64429 ハンドセットを使用して電話をかけるときに、わずかなエコーが聞こえる
- CSCvr85659 ユーザがプロファイルを削除して Wi-Fi を切断し、スキャンからホーム画面に戻ると、[Wi-Fi スキャン (Wi-Fi Scan)] ソフトキーが表示されない
- CSCvr90430 7832 8832 LED のステータスが Web ページに正しく表示されない

解決済みの警告

次のリストには、ファームウェア リリース 11.3(1) を使用している Cisco IP 電話 8800 シリーズ マルチプラットフォーム電話の解決済みの重大度 1、2、および 3 の不具合が記載されています。

このリストには、このレポートのコンパイル時に解決済みの警告のスナップショットが反映されます。警告のステータスは、その後に変更されている場合があります。解決済みの警告の更新されたビュー、または特定の警告の詳細または履歴を表示するには、[警告の表示 \(14 ページ\)](#) の説明に従ってバグ検索ツールキットにアクセスします。この情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

- CSCvq57995 共有アピランスがアクティブになった後に、フォーカスがプライマリ回線に戻らない
- CSCvq71940 大企業向け XSI ディレクトリを使用すると、電話機が再起動する

- CSCVq58001 電話「ACK」に「Route」ヘッダーがない
- CSCVq96777 FreeType での複数の脆弱性
- CSCVr17942 linux_kernel での複数の脆弱性
- CSCVq29665 PRT ログの説明に MAC がシリアル番号として表示される
- CSCVo43984 CP-88 xx、TR-069 の問題
- CSCVo17547 CP-8865-3PCC-K9=、サービス プロバイダー キャリア属性解析エラー
- CSCVo47648 CP-8841-3PCC, 11.2.3 FW がミーティングからの音声を受信しない
- CSCVp16819 無応答遅延リング カウントが正しく更新されない
- CSCVq48914 コールの録音が始まらない (SDP で o-line がインクリメントしない)
- CSCVo46210 電話機に 25 BLF エントリしかない
- CSCVo88578 コール転送をオンにすると、LCD のステーション表示名が選択した回線のユーザ id に変わる
- CSCVq00877 SDP で録音再開 Failed-OwnerCreator セッション ID がインクリメントしない
- CSCVq63855 コール情報/PAIDの CLID が異なる場合、コール履歴に予期しない番号が表示される
- CSCVq92857 無線接続でイーサネット ネットワークから取得した LCD ディスプレイ IP アドレス。
- CSCVr14573 linux_kernel での複数の脆弱性
- CSCVr37015 接続が復元された後、電話がメイン SIP プロキシに戻らない
- CSCVr61497 libpcap の 1.9.1 へのアップグレードと、tcpdump の 4.9.3 へのアップグレード
- CSCVr58188 linux_kernel での複数の脆弱性
- CSCVn81320 接続している PC の電源を入れたとき、または切ったときに、CP-88xx-3PCC 電話機が再起動する
- CSCVr37046 CP-8851-3PCC : 8851 HW31 API 誤動作
- CSCVr39880 アップグレード後に 8851 KEM の電源が入らない
- CSCVq80431 Cisco 8851 - 8861 (3PCC) IP 電話 Bluetooth キー ネゴシエーションの脆弱性
- CSCVr67580 linux_kernel での複数の脆弱性
- CSCVq80432 Cisco 8845 - 8865 (3PCC) IP 電話 Bluetooth キー ネゴシエーションの脆弱性
- CSCVr24925 Bluetooth 検出可能な状態の不正なペアリングの脆弱性
- CSCVr48050 Lib : cURL および libcurl ftp_receive_packet() 関数ヒープ バッファ オーバーフロー...

- CSCvr35152 8851 : 接続した PC をリブートすると、電話機が再起動する。
- CSCvr06360 CP-8865-3PCC、5GHz Wi-Fi を使用する場合の IPv6 アドレスの問題
- CSCvq50638 電話機がミーティング電話会議で音声を受信できない
- CSCvp53228 コール中のコーデック ネゴシエーション後に、電話機がメディアコーデックを変更しない
- CSCvs02868 リモートで OPUS codec fmt が送信されない場合に、OPUS コーデックで音声
が片方向

Cisco IP 電話ファームウェアのサポート ポリシー

電話機のサポートポリシーについては、<https://cisco.com/go/phonefirmwaresupport> を参照してください。

